



【生徒・学校の現状】

- 遅刻・早退、長期欠席の生徒が多く、1・2年次での転退学者も少なくない。基本的な生活習慣の確立、中途退学者を減らす取組の工夫が課題である。
- 入学する生徒の多様性が広がり、学力差も大きい。「学び直し」から進路実現までを支える授業改善、補習、学校設定科目の充実等が課題である。また、日本語を母語としない生徒の学習支援、進路指導にも工夫が求められる。
- 努力すること、継続して取り組むことが苦手な生徒が多い。また、自己有用感や集団への帰属意識が低く、コミュニケーション力、協働性に課題がある。

【教育目標】

入学から卒業までの総合的・体系的なキャリアプランに基づいた教育活動により、生徒の人格形成を行う。その際、卒業までに全ての生徒が身に付けるべき資質として規範意識と社会性を育成する。具体的には基本的な生活習慣の育成、基礎学力の定着等学校生活に適應させる指導を通し、生徒の社会貢献の意識の育成と希望進路の実現を図る。また、特別活動や部活動を生徒の主体的活動の実践場面として位置付け、充実することで、生徒の帰属意識を高め、学校全体を活性化させる。また、いじめのない、体罰をしない、させない、起こさない学校をつくる。

【学校像/学校経営計画】

- 全教職員が目指す学校像を共有して協働するとともに、学校に配置される専門職、地域や関係機関との連携により効果的な指導・支援の方法を常に追求する。また、多様な生徒が自らのペースで学習や学校生活の充実を図り、誰もが落ち着いて安心できる環境を創るために、以下のような学校を目指す。
- ルールやマナーを尊重する態度、他者を思いやる気持ち、豊かな人間関係を構築する力を培う学校。
 - 入学から卒業までの体系的な進路指導によって、多様な生徒の進路実現と自己実現を図る学校。
 - 基礎・基本の習得と定着から進学希望の実現まで、個に応じて幅広く学力の向上を図る学校。
 - 幅広い体験を通して、自己有用感を高め、自らの力を他者の為に生かそうとする意識を育てる学校。
 - 生徒の心身の健康づくりを進める学校。

【予想される社会の変化】

Society 5.0
少子高齢化の更なる進行
急速な国際化

多様性が尊重される
異文化共生社会
↑↓
格差の拡大する社会

誰も置き去りにしない荻窪高校

【荻窪高校が目指す生徒の将来像 (Society 5.0 を生きる生徒の姿)】

- ① A I や機械に代替できない仕事を担う力を身に付け
- ② 主権者・納税者として民主主義社会を支える自覚をもち
- ③ 国連 SDGs が描く「持続可能な社会の実現」を目指す市民

シチズンシップを
身に付けた社会人

【荻窪高校の教育活動全体を通して育成を目指す資質・能力】

いま、この場所で自分を活かす力

- * どのように社会が変化しても、いつかどこかでではなく、今を生きる自分の課題に向き合い、努力することができる力。
- * 社会が直面する課題の解決に向けて、自分にできる役割を発揮し、他者と協働して取り組むことができる力。

次期学習指導要領で育成を目指す資質・能力	荻窪高校が目指す資質・能力の達成度評価基準表 (ルーブリック)				
	荻窪高校生が身に付ける【9つの力】	レベル1	レベル2	レベル3	
知識・技能	自分を育てる準備をする力	①言語力	物事を理解するツールとしての国語力を身に付けようとしている	物事を理解するツールとしての国語力が身に付き適切に使用できる	言葉で考えを組み立て、根拠を示して説明することができる
		②情報収集・活用力	必要とする情報を収集し物事の理解や考察に活かそうとしている	収集した情報を活用し物事の理解や考察を進めることができる	情報を取捨選択して、物事を多面的に深く理解、考察することができる
		③論理的思考力	筋道立てて物事を考えようとしている	筋道立てても物事を考えることができる	根拠をもって論理的に物事を考えることができる
思考力 判断力 表現力	自分を外側に発信する力	④自己評価力	自分の判断や行動から自己理解を深めようとしている	他者からの評価も受け止め自己理解を深めることができる	自己のアイデンティティを意識し、その確立を課題とできる
		⑤表現力	他者に向かって表現しようとしている	他者に向かって表現することができる	相手の立場を考えて分かりやすく表現することができる
		⑥対話力	対話によって相互理解を深めようとしている	対話によって相互理解を深めることができる	対話による相互理解を深めて、合意を導くことができる
学びに向かう力 人間性等	自分を育て、より良く生きようとする力	⑦考察力・課題発見力	自らが取り組むべき課題を考え、つかむことができる	周囲の人々と共有する課題を理解することができる	より良い社会を築くための人類共通の課題を理解することができる
		⑧協働力	他者と協力することの大切さを理解している。	課題解決に向けて、常に他者と協力して取り組むことができる。	自ら他者との協働関係を築き、合意形成を図りながら取り組める
		⑨行動力・改善力	目標に向かって取り組み、振り返りをしようとしている	目標をあきらめずに、継続して取り組み、振り返ることができる	目標に向けて取組を改善し、次の目標を設定することができる

《 2022年までに荻窪高校が導入・拡充をめざす取組 》

- * 探求的・主体的学びの充実
 - * さまざまな学習方法の活用
 - * 基礎学力の定着と充実
 - * 多様な生徒に多様な支援
- 【荻高ゼミ】【課題解決型学習】【もっと学びたい「志」の応援プロジェクト】など
 【インターネット学習】【学校外学修の単位認定拡充】【短期集中講座】【他校との併修】など
 【学び直し科目「リトライ」】【外部人材による自習支援】【にほんご学習】など
 【ソーシャルスキルトレーニング】【通級による指導】【日本語を母語としない生徒の進路指導】など